

「わたしの平和宣言」

- すべての人の生命を大切にします
- どんな暴力も許しません
- 思いやりの心を持ち、助け合います
- 相手の立場に立って考えます
- かけがえのない地球環境を守ります
- みんなで力を合わせます

(2000平和の文化国際年キャンペーン)

第8回広島ユネスコ活動奨励賞受賞者と活動内容

区分	学校・団体(代表者)	分野	活動内容	対象国・地域(者)	活動開始
学 校 部 門	阿戸小学校 (菅尾洋子)	国際理解 国際交流	ハロータイムの設定、大学との連携など英語活動を生かしてのコミュニケーション能力の育成、留学生・JICA研修員が関わる異文化体験教育	アジア諸国、カナダ、イギリス、ニュージーランドなど	2002
	比治山女子高等学校 (鍵下清哲)	国際理解 国際交流	韓国源花高等学校との姉妹校提携による相互訪問(交流会・ホームステイ・合同合宿)、芸術・文化交流、文化祭展示・研究発表、国際理解週間の設定	韓国	2002
	広島国泰寺高等学校 (安森 譲)	平 和 国際理解 国際交流	放送部の作品制作(国際理解・平和問題題材)・発表、行事への参加活動 全国高校ユネスコ研究大会での作品発表(4作品) 語学・異文化体験海外研修、姉妹校提携による交流・ホームステイ、科学研究海外派遣	米国、オーストラリア、イギリス、中国など	1993
	広高等学校 (坂本眞平)	国際理解 国際交流	持続可能な知識・態度・技能の習得をめざすグローバル・スタディの特設、JICA 中国訪問・研修員招待交流研修、韓国公務員・米国留学生などとの語学・文化交流、広島大学大学院の協力による授業実施、全国高校ユネスコ研究大会参加(研究発表者・実行委員20名)	南西アジア諸国、米国、韓国など	2002
社 会 部 門	楠那ネパール友好協会 (池田義郎)	国際交流 国際協力 平和活動	友好親善訪問、語学講座、市内・地域行事への参加・交流・募金活動、医療・教育支援活動、カトマンスで原爆資料展の開催など	ネパール王国	1997
	スリランカ友の会 (高林富美子)	国際交流 国際協力	友好親善訪問、地域行事への参加・交流活動、学用品の発送、災害義援金・支援物資の発送など	スリランカ民主社会主義共和国	1995
	日本語教室「もみじ」 (松浦順子)	国際理解 国際交流	地域在住外国人の日本語学習指導、学習者相互の文化交流、日本の伝統文化の体験、地元小学校との交流会参加、地域社会に適應するための支援など	東南アジア諸国、欧米諸国	1996

第八回ユネスコ活動奨励賞受賞団体決定

学校部門四校、社会部門三団体

広島ユネスコ協会は、一九九八年度、協会結成記念事業として、「ユネスコ活動奨励賞」を新設し、国際活動を進める学校、地域の優れた活動(国際理解、国際協力、国際交流)を顕彰しています。

今年度は、第八回目を迎え、九月十五日から十月三十一日まで募集し、去る十一月三十日、広島国際学院大学立町キャンパスで審査(審査委員長・中山修一日本ユネスコ国内委員)を行った結果、学校、社会部門の

別掲七団体が選ばれました。応募総数はこれまでの中では少ないほうでしたが、それぞれの活動内容は、非常に優れたものでした。今回の受賞団体を含め、これまでに顕彰した団体数は、小学校十四校、中学校四校、高等学校十一校、社会部門二十九団体となります。選ばれた受賞団体には、一月二十二日(日)に開催する予定の「ユネスコ新春フェスタ2006」における表彰式において賞状と賞牌を贈ります。

＊ユネスコ新春フェスタ2006＊

と き 2006年1月22日(日) 午前10時から午後1時45分まで
 と ころ エンジェル・パルテ(中区袋町7-25 ☎247-5588)
 内 容 第1部 広島ユネスコ活動奨励賞表彰
 (講評、賞状・賞牌贈呈、活動紹介など)
 第2部 シャンソン&トーク
 ゲスト: シャンソン歌手 山縣明久さん
 伴 奏: 為保直子さん
 ≪記念パーティー≫ 同日正午 会費6,000円

昨年度の表彰風景・山陽女学園高等部代表者に賞状を贈る北川会長



51回全国高校ユネスコ研究大会

大きな成果をあげて終了

広島アピールも発信

先号でくわしくお知らせをしたように、第五十一回全国高校ユネスコ研究大会が、当協会などの主催によって、去る八月三日から四日間の日程で、広島市江田島市において開催されました。大会は、大きな成果をあげて終了しました。

ここでは、この大会開催にあたり、尽力された当協会藤原隆範理事に大会の模様と成果について報告していただきます。

第五十一回全国高校ユネスコ研究大会は、八月三日から六日まで、広島市・江田島市を会場に、「いまこそ広島から心の中に平和のとりでを！」をテーマに開催されました。今大会に参加したのは、全国の高校生、韓国大邱ユネスコ協会の中高生と指導者、世界各国の留学生で、教師・ユネスコ協会関係者・通訳・ボランティアなどをあわせると十か国から総勢三百十二名となりました。開会行事では、北川建次広島ユネスコ協会会長、望月浩明全

日午後と五日午前にわたって行われました。各講師による講義のあと、コーディネーターの指導の下、高校生による白熱した討論が展開されました。

五日午後、参加者は世界遺産である宮島・厳島神社を見学、宮島ユネスコ協会のボランティアガイドより説明を受けました。夜の交流会では、歌の交流のあと、各分科会の「まとめ」の報告が行われました。

六日早朝、参加者はフェリーと市内電車を乗り継ぎ、平和記念公園に到着、被爆六十周年の平和祈念式典に参列しました。その後、もう一つの世界遺産である原爆ドームを見学、ドーム周辺の慰霊碑めぐりをした後、閉会行事会場である広島アンデルセンへと向かいました。

閉会式では、光田鈔広島ユネスコ協会副会長による挨拶、藤原隆範大会副実行委員長による講評のあと、ひろしま音読の会による原爆詩の朗読が行われ、最後に吉本恵里子生徒実行委員長によって「広島アピール」が読み上げられました。(別掲) 被爆六十周年を記念した高校生大会は、大成功に終わりました。今大会の特色は三点にまとめられます。第一点は、広島ユネスコ協会が総力を結集して大会を

広島アピール

私たち高校生は、被爆60周年を迎えた今年、ヒロシマの地で、新しい「平和の文化」について学びました。ここで学んだことを明日につなげていくために、また、ここに集まった高校生の友好の証として、私たちは次のことを宣言します。

- 1 Harmony & Comprehension & Believe
- 2 勇気一瞬、幸せ一生 ~あなたの一瞬の行動が地球を変える~
- 3 物だけではない国際協力 ~アイデアでつなげる世界の輪~
- 4 “言葉”よりも“カタチ”で表現! ~世界の未来はヒロシマから~
- 5 平和をつくるときは、みんなの努力が必要です
- 6 言葉・しくみ・心の壁をこえる ~平和は各民族共通の願いです~
- 7 私たちは互いを尊重し、理解し合い、認め合い共に生きることを誓います

支えたということです。高校生大会の開催のあり方は、開催地によって異なっているのが現状ですが、「今大会ほど地元ユネスコ協会が支えたことはない」と、奥川浩史さん(日本ユネスコ協会連盟職員)より感謝の言葉をいただきました。第二点は、「新しい平和の文化の創造」を目標として、各分科会・講演・講義、発表・フィールドワークなどが首尾一貫した内容であり、目標と内容が一体化しているという点であります。第三点は、この大会の開催を機に、ヒロシマの高校生たちが、「新しい平和の文化の創造」をめざしてネットワークをつくり始めたという点であります。

今大会の開催のあり方は、「ヒロシマ方式」として、今後



閉会式終了後、達成感にひたる生徒実行委員会のみなさん

大邱訪問団、友好親善の旅

広島ユネスコ協会では、韓国

ユネスコ大邱協会との姉妹協会

提携事業として、相互に訪問団

を派遣しております。このたび、
第三次訪問団十三名（北川建次
団長）が大邱市を訪問し、友好
を深めてまいりました。

訪問団員とおもな日程は次の
とおり。（敬称略・順不同）

訪問団の一人、梶井朝子理事
に訪問記を寄せていただきました
ので、ご紹介します。

- 〔訪問団〕 北川建次 井口健
山本隆信 亀井章 佐々木肇
藤井孝行 国田繁 梶井朝子
梶井清子 藤井正一 片岡一寿

京極博 山田司朗 政岡峰子

〔日程〕 ◇十月十七日 下関国

際フェリー港発◇十八日 釜

山国際フェリー港着、通度寺
（トンドサ）観光、嶺南第一
関門参観、葉令市会館展示見
学、歓迎晩餐会◇十九日 大

邱タワー見学、源花女子中高
等学校（比治山女子高校の姉

妹校）見学、学生文化センター
見学、海印寺（ヘインサ）見
学、大伽耶王陵展示館・野生

花生物態植物園見学◇二十日
 柱岩湖・松広寺観光、商店
街見学◇二十一日 金剛園・
太宗台・海雲台観光、サヨナ
ラ昼食会、釜山国際フェリー

港発◇二十二日 下関国際フ
エリー港着

友好訪問団に参加して

梶井朝子

五泊六日、お天気にも恵まれ、
ユネスコ大邱協会の方々十一名
も同行してくださり、楽しい旅
になりました。

出発当日の十月十七日、小泉
首相が靖国神社を参拝されたの
で、気を揉みましたが、歓迎晩
餐会では、呂博東啓明大学副総

長が「政治や経済でいろいろあ
つても、民間ではこうして友好
を深めていくことが大切だ」と
挨拶なさり、逆に気を遣ってく
ださっているのを感じありがた
く思いました。

さて、今回の旅は韓国三大名
刹巡礼。各所とも紅葉し始めた
木々も美しく、深山幽谷の風情
の中、日本とは少し違って青磁
色に彩色された寺院を見てまわ
りました。お寺の中では、熱心
にお祈りする人々の姿も見ら
れ、信仰心の厚さを感じました。

また、秀吉によって破壊された
と記述のある碑もあり、胸が痛
みました。

その他では、大邱の学生文化
センターの立派な施設が印象に
残りました。そこでは、パソコ
ン操作を熱心に学ぶ人や、ス
ポーツジムで汗を流す人たちに

とても熱いものを感じました。
大邱でも釜山でも、大きなビル
の建設や、道路の工事の中そこ
ろも多く、街にも人にも、勢い
が感じられました。

旅の道中、バスに乗れば折々
に、乳酸飲料、もち、みかん、
お茶などを配られ、そのきめ細
やかな心遣いには痛み入りまし
た。また、バスの中で歌ったア
リランやコヒヤンも楽しい思い
出です。歌といえばカラオケ。

今回二回、韓日カラオケ歌合戦
が繰り広げられました。韓国の
方は本当に歌が上手。声量もあ
り、歌心もあり、その堂々とし
た歌いっぷり。私の判定では、
圧倒的に韓国に軍配！でした。

カラオケの最後に全員で「蛍の光」
を歌いながら、皆さんと握手して
まわったのがとても印象深く、絆
を深められたように思います。

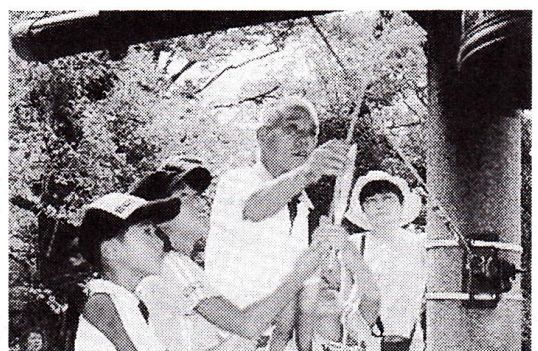
「いつも」も「平和の鐘」

六十回目の終戦記念日を迎え

た八月、国内各地で、これまで
の平均参加数約四十を上回る六
十の地域ユネスコ協会が「平和
の鐘」を撞きました。

八月十五日、平和記念公園・
平和の鐘前広場。梶井朝子理事
の司会で始まった広島島の集い
は、北川建次会長の挨拶に次い

三代目で平和の鐘を



で広島ユネスコ協会と姉妹提携
を結ぶ韓国大邱ユネスコ協会と
の間で交わされたメッセージが
披露されました。参加者は、平
和の鐘パンフレット、ユネスコ
うちわを手にした約百二十人。
ユネスコ会員、観光客、お盆の
帰省客にまじって英国からの旅
行客親子二組の夫妻の姿も。口
やがて正午、高校生ユネスコ
研究大会開会式の司会役を務め
た広島女学院高校二年生・栗栖
加奈さんと当協会北川会長が撞
く鐘の音を合図に参加者全員で
黙祷を捧げました。

二〇〇〇年に始まった「平和
の鐘」はこととして六年目。参加
者全員が、毎年取材をしてくれ
るテレビ局と新聞社のフラッシ
ュを浴びながら、次々に鐘を撞
きました。

（常任理事・亀井章）



源花女子中高等学校にて、大邱
協会と当協会訪問団の記念撮影

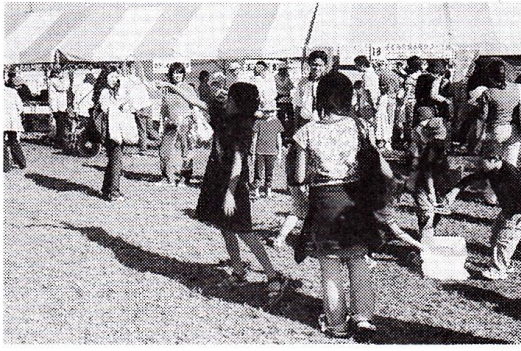
意義深いへあせろへ への参加

去る十月十六日、広島市中央公園で開催された「へあせろへ」に、当協会も参画し、世界遺産パネル展示、子ども伝承あそび指導、英語で外国人の方との交流などを行いました。

毎回、子どもたちに廃物を使った遊びを、ボランティアで教えていただいている岩佐逸二さん・和子さんから感想文が寄せられましたので、ご紹介します。

× × ×

十月十六日(日)に開催されたへあせろへに参加しました。私たちは、数年前から、ユネスコブースでお手伝いをさせていただいています。



子どもたちが賑わう広島ユネスコ協会のブース

このブースでは、安佐北区小河内の皆さんによるわら草履の作製や竹細工などを行っていますが、私たちは、「廃物を使った遊び」を担当しています。

元々、このコーナーでは、宇品の宇根利枝さんが、子どもたちへ、不用品を使ったおもちゃや装飾品の作り方を教えておられました。私たちも宇根さんとの御縁で、へあせろへへ参加させていただくようになり、このコーナーで宇根さんの知識と技術を伝授していただきながら、来場者の皆さんと一緒に「廃物を使った遊び」をしています。

町や山で拾ってきたものを使って「松ぼっくりの花かご」「ビニル紐を使った四つ編み」「スポンジのうさぎ」「風船の果物」などを来場者の皆さんと作



「松ぼっくり花かご」を見るお母さんたち

っています。子供からお年寄り、日本の人も外国の人も興味を持って集まってくださいます。そして、一緒に「廃物を使った遊び」をしています。

これが縁で、市内の幼稚園へ行って、園児たちに「廃物を使った遊び」を教えたこともありました。また、外国の人と身振り手振りでも「廃物を使った遊び」の説明をしました。多くの人と触れ合うことができ、へあせろへへの参加は私たちにとても意義深いものとなっています。

また、「廃物を使った遊び」を通じて、自分自身、物の大切さを再認識することができました。このことを多くの方にも感じ取って頂き、大量消費、大量廃棄の習慣を見直し、物を大切にすることを広げ、美しい日本・美しい世界を守っていければと思っています。

(協力者・岩佐逸二、和子)

国際交流・協力の日 ユネスコ活動を紹介

市民がつくる手づくりイベント「国際交流・協力の日」が十二月四日(日)、広島国際会議場周辺で開催されました。「見つめよう地球 学ぼう世界」の合言葉の基に国際交流・協力にかかわる二十四種類の学びと体験の

内容が実行委員会構成団体の運営の工夫により、多くの市民で賑わいました。

広島ユネスコ協会は同会議場地下二階のヒマワリの会場で国際交流・協力を紹介する「紹介展示コーナー」において、被爆六十周年に合わせ、八月に広島市などで開催された全国高校ユネスコ研究大会の活動写真展・ビデオ放映・大邱ユネスコ協会と姉妹提携し、相互訪問している事業で十月に韓国大邱市へ訪問した写真を展示しました。また、比治山女子中学・高等学校の韓国源花女子高等学校と姉妹校提携交流の模様や広島国泰寺高等学校校放送部制作、テレビドラマ「君にニーハオ」のビデオ上映を行ったり、ユネスコ世界遺産や寺子屋運動の紹介などで広島ユネスコ協会の活動を大きく来場者にPRいたしました。

来場者は熱心に展示物を鑑賞され、ユネスコ活動に期待を持っていたいただきました。

(理事・藤井孝行)

ヒロシマ平和映画祭に協力

被爆六十周年に際し、戦後ヒロシマ・平和をテーマに制作された内外の劇映画、ドキュメンタリー作品を上映するヒロシマ平和映画祭(同実行委員会主催、

広島市補助金交付事業)が、十一月五日から八日間、アステールプラザ、平和記念資料館、シネマサロンなどの会場で開かれました。

この事業に対し、当協会は協力団体に名を連ね、実行委員を派遣し、協賛前売り券の普及活動などに取り組みました。また、久村敬夫さん(元「映画手帳」編集長)、蔵本順子さん(サロンシネマ・シネツイン館主)、当協会高橋昭博副会長の出演、井尾義信常任理事の司会で、広島における「原爆映画の歩み」を辿るシンポジウムも行われました。

北川会長、国内委員に

文部科学省は、十二月一日付で、当協会、北川建次会長を日本ユネスコ国内委員に任命しました。

北川会長は、今後、我が国におけるユネスコ活動に関する基本方針の策定や助言、企画、調査など国内委員会(会長・平山郁夫東京芸術大学長)での活動をするつもりになりました。

このたびの就任は、民間ユネスコ分野からの各ブロック一名の選出に伴うものですが、当協会からは、教育分野において中山修一常任理事が学識者としてすでに任命されており、

お二人の国内委員会での活動が大いに期待されます。

中国ブロック・ユネスコ 活動研究会参加報告

事務局長 山本隆信

十月八日・九日、中国ブロック・ユネスコ活動研究会が「地域に密着したユネスコ活動を考える―平和の文化の創造にむけて―」を大会テーマに鳥取市で開催され、北川会長、亀井常任理事、山本が参加しました。その概要を報告します。

基調講演。「国際交流が育んだ日本海文化―山陰地方の遺跡から―」と題して、関西外国語大学教授佐古和枝さんが「まわりを海に囲まれた日本列島は、太古の昔から大陸との交流によってさまざまな技術や知識を取り入れながら、独自の文化を育んできた。大陸との交流に日本海が大きな役割を果たしたことはいうまでもない」と前置きし、それは、「山陰の遺跡から朝鮮半島系の土器、また、弥生時代の大陸製鉄器が大量に出土していることから交流があったことをうかがわせる」などと太古の昔から江戸時代に至る長きにわたり、日本海は人や物、情報技術が行き交う重要な交通の場として山陰ひいてはわが国の文

化の発展に重要な役割をはたしてきたことを説明。そして、「陸・空交通が中心となった現代の私たちは、海の果たしてきた役割とともに、海の向うに目線を向けることもわすれがちなものではないか」と考古学者としての視点から国際交流のあり方を話されました。スタディ・ツアー（二日目）は記念講演を实地踏査するもの。鳥取県内にある青谷上寺地遺跡、妻木晩田遺跡、上淀廃寺跡、日韓友好交流公園「風の丘」を巡り、解説を交えて山陰と日本海の歴史について遺跡を中心としての学習をしました。

また、「平和の文化の創造にむけて」の全体討議では亀井当協会平和部会・世界遺産担当常任理事が「平和の文化について」世界遺産「原爆ドーム」の保持・啓発活動として「原爆ドーム絵葉書」発行、広島スタディの受け入れ、写真パネル展示、講師派遣などの成果と評価を発表。さらに、原爆被爆体験の執筆、体験記朗読活動として被爆体験記を形にしようとする動き、体験記や文学作品の朗読・読み聞かせボランティアの活動の状況などの例をあげながら、「二十世紀に、心身の被爆と引き換えに得た忌まわしい記憶が、体験

記という文化遺産として遺され、朗読を通じて甦り、継承される。名だたる遺産、建造物、史跡景観ばかりが人類の遺産ではない。人類初の核爆弾の犠牲者の手記は「平和の文化」であり、平和の世紀に導く源泉である」と、レポートを通じて広島

鳥取ユネスコ協会創立三十年を迎えてこれまでの活動の特徴を生かしたテーマ設定による研究会は内容が多彩で、時間的余裕があったらなお充実したものになったとおもいます。来年は秋市開催9/30～10/1。

第三回「ハングルに親しむ講座」二月から開講

二〇〇六年二月から三月にかけて、広島市青少年センターとの共催で、三回目となるハングル講座を開講します。講師に前回と同じ朴英珍先生を迎え、ハングルの文字、発音、簡単な挨拶などを習う他、前回好評だった韓国料理の調理実習も行います。全六回。韓流ブームが続く中、今回も多数の受講生が参加されますようご案内します。
△開催日時▽二〇〇六年二月二日(木)から毎木曜日。午後六時三十分から八時三十分まで。
△対象▽十八歳から三十歳まで

の方。

△参加費▽二千五百円。

△定員▽三十名。

△会場▽広島市青少年センター（中区基町五一六一、広島市民球場西側）

△問合せ・申込み▽広島市青少年センターへ電話で（電話二二八一〇四四七）

日誌

△8月▽

2日/第5回全国高校ユネスコ研究大会実行委員会。最終確認（広大附属高校）

3～6日/第51回全国高校ユネスコ研究大会（広島市ほか）

△9月▽

9日/理事会。岩国基地への米軍厚木基地機能移転に反対する要望について（事務所）

15日/ユネスコ活動奨励賞募集開始（10月末日まで）

27日/第3回韓国訪問団説明会。

△10月▽

4日/事務所移転（14日も）

8～9日/中国ブロック・ユネスコ研究会北川会長、亀井常任理事、山本事務局長（鳥取市ほか）

13日/岩国基地への厚木基地機能移転に反対する要望書発送。内閣総理大臣ほか

14日/同要望書手渡し。県知事・県議会議長・市長・教育

長（北川会長、井口会長、亀井常任理事、山本事務局長）

16日/べあせろべ 北川会長ほか多数（中央公園芝生広場）

17～22日/韓国友好親善訪問 北川会長ほか13名

31日/文化部会。（二葉公民館）

△11月▽

12日/第12回ユネスコサロン「あしたは夢いろ」トワエ・モア指導者・石橋尚子さん（広島市市民交流プラザ）

12日/理事会（連絡会）。（広島市市民交流プラザ）

30日/第8回ユネスコ活動奨励賞審査会（広島国際学院大学立町キャンパス）

△12月▽

4日/国際交流・協力の日。北川会長ほか多数（国際会議場・周辺芝生広場ほか）

12日/韓国訪問団まとめの会

**書き損じなどがき回収
にご協力ください**

年賀状の宛名書きを間違ってしまった、印刷しすぎて余った、印刷ミスなどの理由でポストに投函されていない年賀はがきや未使用の官製はがきを事務局までお届けください。新春フェスタでも受け付けます。